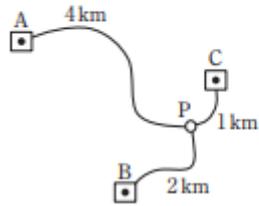


図のように、三つの水準点A～Cから点Pの標高を求めるため直接水準測量を行い、表のような結果を得た。点Pの標高の最確値はいくらか。



水準点	点Pの測定値 [m]	点Pとの距離 [km]
A	12.416	4
B	12.412	2
C	12.425	1

1. 12.418 m
2. 12.419 m
3. 12.420 m
4. 12.421 m
5. 12.422 m

農道の路床に関する次の記述のA～Eに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

路床は、舗装（路盤を含む）の最下面から下の部分で、盛土区間では〔A〕からの、切土区間では掘削した面から下の、深さ約1mの土の部分指し、舗装と一体となって交通荷重を支持し、路体に対して交通荷重をほぼ一定に分散する役割をもつ。なお、軟弱な路床を改良するため路床の一部又は全てを良質な材料で〔B〕層や、石灰・セメントなどで〔C〕層、あるいは、寒冷地における凍上抑制層などは路床に含まれる。

路床土の良否は、その上部に設ける舗装の厚さに大きな影響を与える。このため、その土質の判定に当たっては十分な検討が必要であり、一般に物理的性質（〔D〕、粒度、比重、コンシステンシーなど）及び力学的性質（〔E〕、地盤係数など）を明らかにするための土質試験を行う。その結果や施工事例などの資料を参考にして、路床土としての適否や路床改良方法を決定する。

	A	B	C	D	E
1. 基礎地盤面		置き換えた	安定処理した	CBR	含水量
2. 基礎地盤面		安定処理した	置き換えた	含水量	CBR
3. 盛土仕上り面		置き換えた	安定処理した	CBR	含水量
4. 盛土仕上り面		置き換えた	安定処理した	含水量	CBR
5. 盛土仕上り面		安定処理した	置き換えた	含水量	CBR